

研究主題「小学校英語活動の評価の在り方」

—児童が意欲的に取り組む自己評価の工夫と評価の観点の明確化—

東京都教職員研修センター研修部教育経営課
東京都板橋区立成増小学校 教諭 加藤裕美子

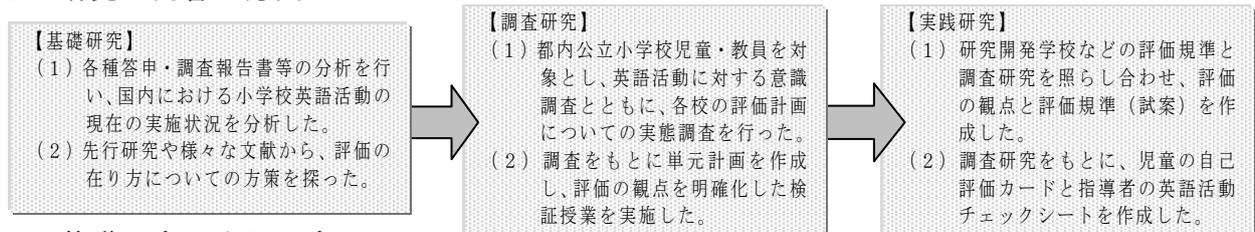
I 研究のねらい

総合的な学習の時間における国際理解教育の一環としての英語活動は、ここ数年で全国的な広がりを見せている。平成18年3月の中央教育審議会外国語専門部会の会合では、教育課程における位置付けについて、領域または総合的な学習の時間として、高学年では年間35単位時間程度での設定を検討する必要があると示された。

今日、各地で進められている小学校英語活動は、英語を聞く・話す等にかかわり、ゲームや歌等の体験的な活動が多くを占めており、児童の興味・関心を踏まえることが重視されている。

このような英語活動を設定するためには、指導内容の工夫・改善とともに、適切な評価を行うことも大切である。そこで、本研究では、授業実践を経て、小学校英語活動における評価の在り方について探り、評価の観点と評価規準を作成することとした。

II 研究の内容と方法



1 基礎研究・先行研究

(1) 小学校英語活動実施状況

文部科学省初等中等教育局が行った「平成17年度 小学校英語活動実施状況調査(調査対象22,232校)」では、平成17年度は、小学校の93.6%が「英語活動」を実施したという結果であった。活動内容の回答で多かったものは「歌やゲームなど英語に親しむ活動」「簡単な英会話(あいさつ、自己紹介)の練習」であり、いずれの学年も9割を超えている。

英語を聞く・話す等の体験的な活動に意欲的に取り組ませるためには、児童の興味・関心をふまえた活動内容を設定する必要があると考えられる。また、児童自身が活動のめあてをもつことで主体的に取り組む態度が育つと考える。

(2) 小学校英語活動における評価の在り方

平成10年の教育課程審議会答申では、「総合的な学習の時間の趣旨、ねらい等の特質が生かされるよう…(中略)…学習に対する意欲や態度、進歩の状況などを踏まえて適切に評価すること」とされ、平成12年では「各学校で評価の観点を定める」ものとしている。また、「小学校英語活動実践の手引き(平成13年)」では、評価について「教師の視点から児童の変容を評価することが大切である。」「児童の自己評価や相互評価を通して変容を把握する。」と示している。これらのことから、児童の変容を把握するためには、適切な評価の観点を明確にすることが大切であると考えられる。また、評価の観点に基づいて、教師自身も授業を振り返り、授業力向上の手掛かりとすることができると考える。

2 研究仮説

総合的な学習の時間の趣旨やねらいを踏まえ、以下のような仮説を設定した。

【仮説1】

児童が、英語でのかわりを重視したためあてをもち、達成感や成就感を味わいながら自己評価を繰り返すことで、活動意欲を持続させ、すすんでかわろうとする態度を育てることができる。

【仮説2】

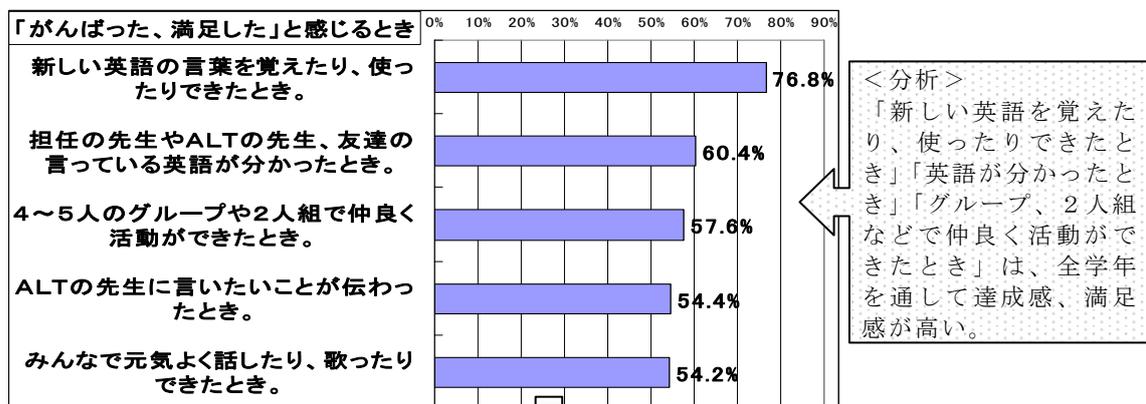
英語活動における評価の観点を明確にすることにより、教師は見通しをもって授業改善が進められるとともに、児童の変容を把握することができる。

3 調査研究

(1) 児童の意識調査

(対象…都内公立小学校第3学年～第6学年児童 583名 平成18年6月実施)

＜調査のねらい＞児童が意欲的に取り組み、達成感や成就感を得られる場面を探る。



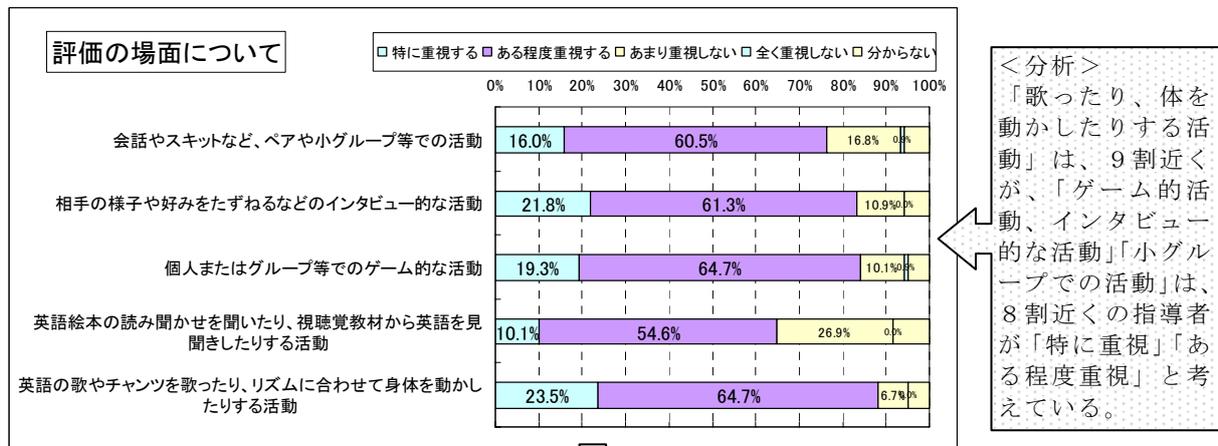
＜考察＞

初めて聞いたこと、知ったことについて使ってみたいという意欲が高く、「英語を使っている」という場면을評価することが望ましいと考える。また、評価場面として、1単位時間内にグループまたはペアなど少人数での活動場面を設定する必要があると考える。

(2) 教員の意識調査

(対象…都内公立小学校教諭 119名 平成18年6月実施)

＜調査のねらい＞指導者の意識から、望ましい評価場面について探る。



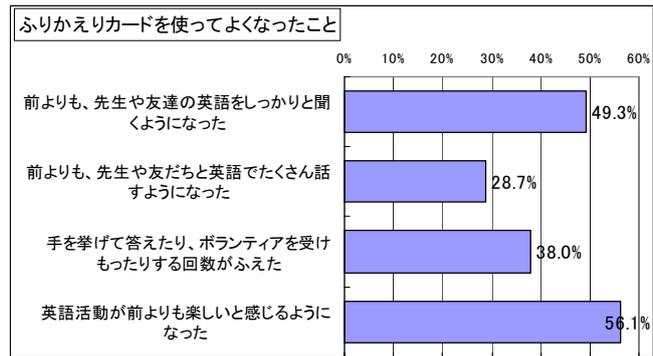
＜考察＞

歌やチャンツ（手拍子などでリズムを取り、単語や短文を発話する）、体を動かす活動等は、評価の場面として重視する必要があると考えられる。また、ゲームやインタビューなど、いろいろな人とかわる場面で評価することが望ましいと考える。

(2) 検証授業の結果

授業後に、自己評価カードについてのアンケートを実施したところ、73名中63名(86.3%)の児童が「使ってよかった」と回答した。そのうち、「前よりも楽しいと感じるようになった」という児童は5割を超え、「英語をしっかりと聞くようになった」という児童も5割近くに上った。

検証授業後の児童アンケートから（第4学年児童）



Ⅲ 研究の結果と考察

1 自己評価のくり返しと活動意欲の高まりについて（仮説1）

自己評価カードの感想欄には、「前回よりも一生懸命できたと思う。次は、ほかの目標を作り、その目標を頑張りたい」という記述がみられ、検証授業後も「カードがあると、決めたことをやるぞという気になる」という感想が得られた。これらのことから、継続した自己評価の取り組みが、児童の活動意欲を高めることができたと考えられる。

2 評価の観点を明確にした授業改善について（仮説2）

評価の観点については、中央教育審議会の示す「コミュニケーションを図ろうとする態度の育成」という趣旨から、英語活動の時間における児童の関心・意欲・態度面での設定が望ましいと考え、検証授業においては、以下のような試案を活用した。

評価の観点と評価規準（試案）〔上段は評価規準、下段は具体的な児童の姿を表す〕	
評価の観点	第4学年
＜観点Ⅰ＞ 活動を楽しむ	○英語表現に興味をもち、表情豊かに楽しみながら活動に取り組む。 ・歌やゲームなどに意欲的に取り組んでいる。 ・リズムに合わせて発話したり、手拍子をしたりしようとしている。 ・中心活動に注目し、すすんで参加しようとしている。
＜観点Ⅱ＞ 人とかかわる	○指導者やいろいろな友達に、積極的にかかわろうとする。 ・相手と目線を合わせながらかかわっている。 ・ALTに親しみをもってかかわろうとしている。 ・ペアやグループでの活動において、英語を使って仲良く取り組んでいる。 ・友達の様子に注目し、声をかけたり褒めたりしようとしている。
＜観点Ⅲ＞ 聞いたり、話したりする	○英語表現に熱心に耳を傾け、聞き取ろうとする。 ○相手に伝わるように話そうとする。 ・相手の話を肯定したり、否定したりしながら聞き取ろうとしている。 ・指導者の英語での声かけに対し、応答しようとしている。 ・自分の伝えたいことを積極的に発表しようとしている。

（一部抜粋、詳細は補助資料④Ⅲを参照）

チェックシートを活用し評価場面を明確にしたことで、ねらいに対する児童の変容を把握することができた。また、自己評価カードは、活動内容に対する児童からの評価という視点にもなり、授業改善を進めることができた。これらのことから、具体的な児童の姿をもとに評価の観点を明確にしたことは、英語活動の実践において有効であったと考える。

Ⅳ 今後の課題

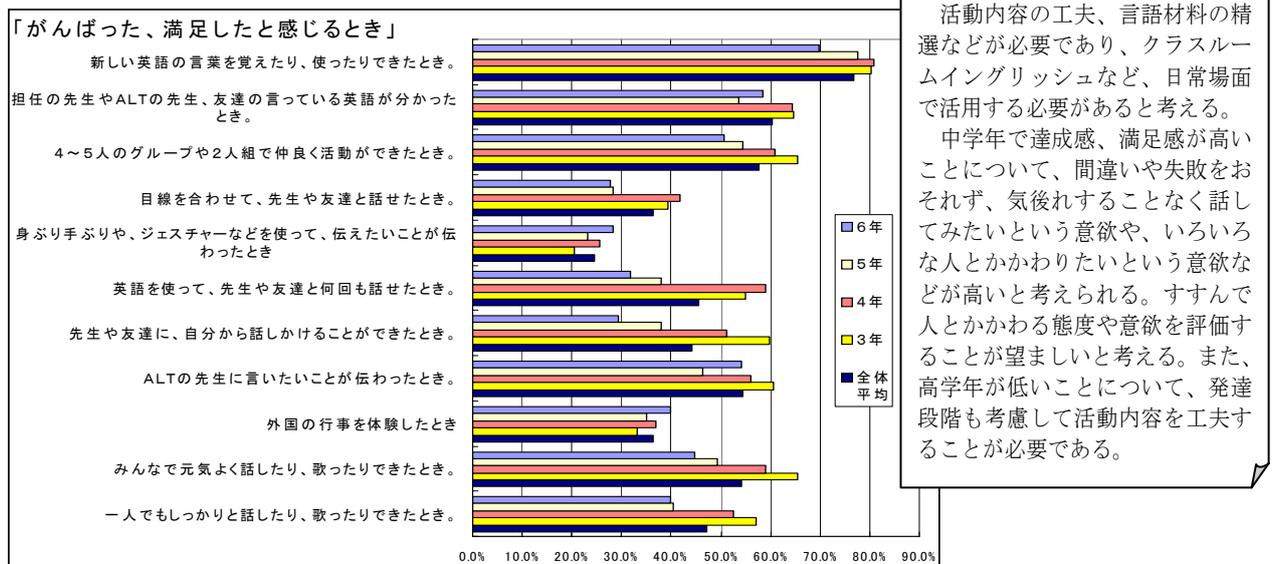
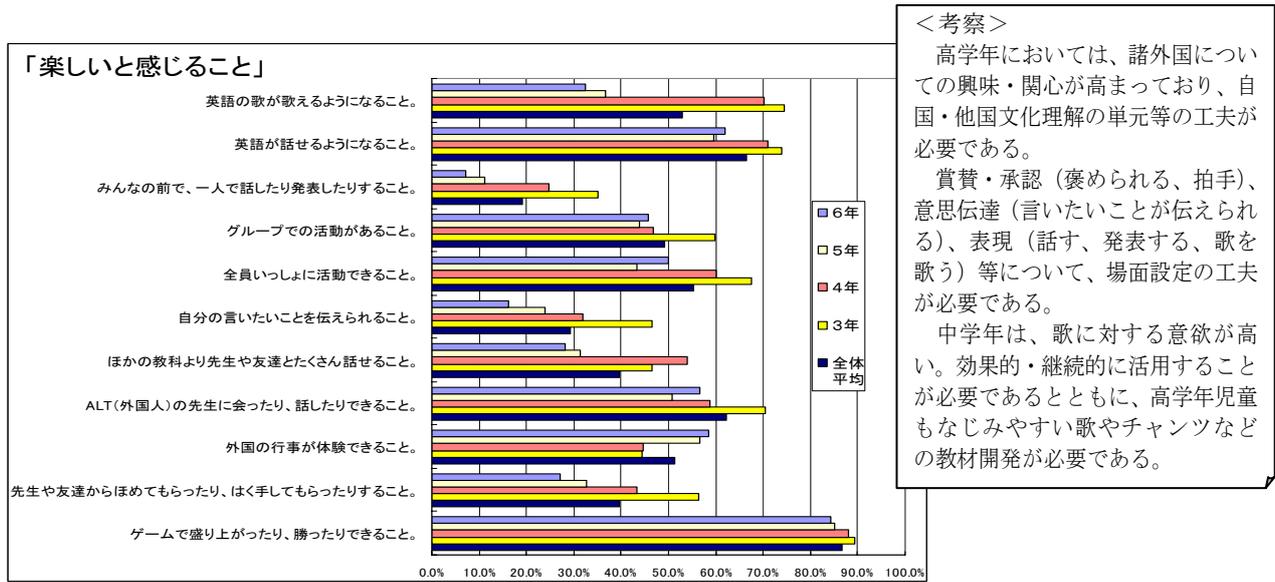
今後も、中央教育審議会の動向に注目し、小学校英語の教育課程上の位置付け等について慎重に対応しながら、指導計画や教材・教具等を充実させていきたい。また、総合的な学習の時間の評価と照らし合わせ、試案の妥当性を追究し修正を加えていきたいと考える。

＜参考文献・資料＞「小学校英語活動実践の手引き」（平成13年 文部科学省） 「英語教育を通じた国際理解教育」における評価」（平成15年 岐阜大学寺島隆吉） 「中教審初等中等教育分科会教育課程部会配布資料」（平成16、18年 文部科学省）

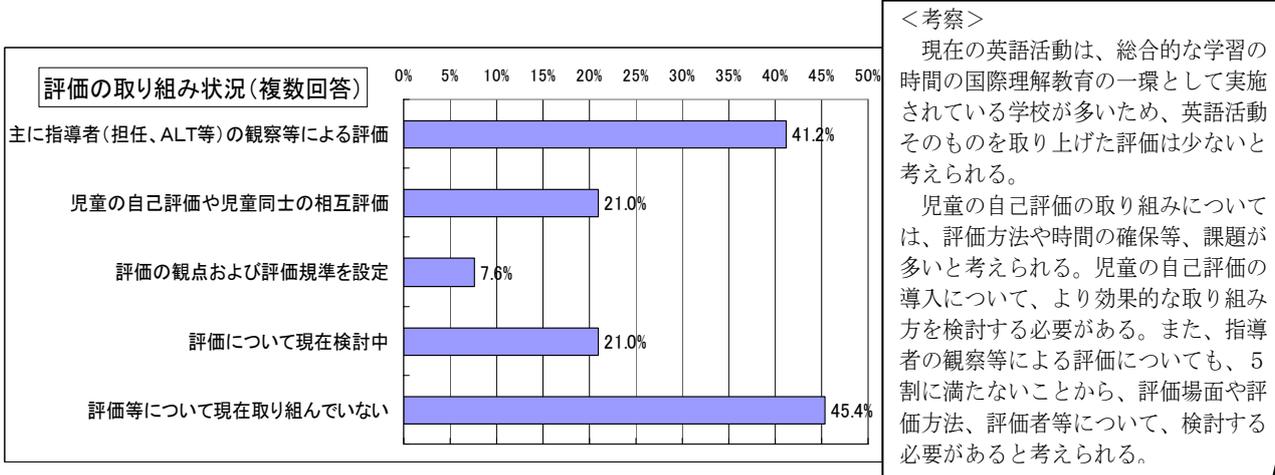
I 調査研究

1 英語活動に対する児童の意識調査

(都内公立小学校第3学年～第6学年児童 583名、平成18年6月実施)



2 英語活動に対する教員の実態調査 (都内公立小学校教諭 119名 平成18年6月実施)



II 学習カード

1 自己評価カードA

英語活動ふりかえりカード

年 組 名前

<このカードの使い方>

(1) 月/日を書く。

(2) 自分のめあてを選んで番号を書く。

(3) 終わったら最高!...◎、よくできた...○、もう少し...△、やっていない...×を書く。

(4) 最後に感想を書いて先生に出しましょう。

◆英語活動の時間の自分のめあてを決めよう。

- A
- ① 会話の練習や、歌、ゲームなどを一生けんめい取り組む。
 - ② 元気に返事したり、歌を歌ったりする。
 - ③ はっきりと聞こえるように言う。
 - ④ ALTの先生と話す。
- B
- ⑤ 自分から話しかける。
 - ⑥ 先生やいろいろな友達と何回も話す。
 - ⑦ 身ぶり手ぶりやジェスチャーなどを使う。
 - ⑧ 目線を合わせて話す。
 - ⑨ 友達と仲良く楽しむ。
- C
- ⑩ 相手の言っていることをきちんと聞き取る。
 - ⑪ 新しい言葉を見て使う。
- ※ABCがたよらないように選びましょう。



最高!...◎ よくできた...○ もう少し...△ やっていない...×

月/日	めあて (2つか3つ)	先生から
	【感想】	
	【感想】	
	【感想】	
	【感想】	

2 自己評価カードB

[] カード

年 組 名前

<このカードの使い方>

(1) 月/日を書く。

(2) 自分のめあてを考えて書く。

(3) 終わったら最高!...◎、よくできた...○、もう少し...△、やっていない...×を()に書く。

(4) 最後に感想を書いて先生に出しましょう。

◆英語活動の時間の自分のめあてを考えよう。

<めあての例>

- ・ 会話の練習や、歌、ゲームなどを一生けんめい取り組む。
- ・ はずかしがらずに壁々と話す。
- ・ はっきりと聞こえるように言う。
- ・ ALTの先生と話す。
- ・ 自分から話しかける。
- ・ 先生やいろいろな友達と何回も話す。
- ・ 身ぶり手ぶりやジェスチャーなどを使う。
- ・ 目線を合わせて話す。
- ・ 友達をほめたり、はげましたりする。
- ・ 相手の言っていることをきちんと聞き取る。
- ・ 新しい言葉を見て使う。



最高!...◎ よくできた...○ もう少し...△ やっていない...×

月/日	めあて (1つか2つ)	先生から
	・ ()	
	・ ()	
	【感想】	
	・ ()	
	・ ()	
	【感想】	
	・ ()	
	・ ()	
	【感想】	

IV 評価の観点と評価規準（試案）

評価の観点と評価規準（試案）〔上段は評価規準、下段は具体的な児童の姿を表す。〕

評価の観点	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
観 点 Ⅰ 活 動 を 楽 し む	○英語表現に興味をもち、 表情豊かに楽しみなが ら活動に取り組む。 ・簡単な歌や、ゲームなどに意欲 的に取り組んでいる。 ・リズムに合わせて発話したり、 手拍子をしたりしようとしてい る。 ・中心活動に注目している。	○英語表現に興味をもち、 表情豊かに楽しみなが ら活動に取り組む。 ・歌やゲームなどに意欲的に取り 組んでいる。 ・リズムに合わせて発話したり、 手拍子をしたりしようとしてい る。 ・中心活動に注目し、すすんで参 加しようとしている。	○英語表現に興味をもち、 身近な英語表現に慣れ 親しむ。 ・ゲームやアクティビティ、スキ ットなどに意欲的に取り組んで いる。 ・新しい英語表現に対し、気後れ せず発話しようとしている。 ・中心活動に注目し、すすんで参 加しようとしている。	○英語表現に興味をもち、 身近な英語表現に慣れ 親しむ。 ・ゲームやアクティビティ、スキ ットなどに意欲的に取り組んで いる。 ・新しい英語表現に対し、気後れ せず、発話したり、質問したり しようとしている。 ・中心活動に注目し、すすんで参 加しようとしている。
	○指導者やいろいろな友 達に、英語を使ってかか わろうとする。 ・相手と目線を合わせながらかか わっている。 ・ALTに親しみをもってかかわ ろうとしている。 ・ペアやグループでの活動で、英 語を使って仲良く取り組んでい る。 ・友達の様子に注目している。	○指導者やいろいろな友 達に、英語を使ってかか わろうとする。 ・相手と目線を合わせながらかか わっている。 ・ALTに親しみをもってかかわ ろうとしている。 ・ペアやグループでの活動で、英 語を使って仲良く取り組んでい る。 ・友達の様子に注目し、声をかけ たり、褒めたりしようとしてい る。	○指導者やいろいろな友 達に、英語を使って積極 的にかかわろうとする。 ・相手と目線を合わせながらかか わっている。 ・ALTに親しみをもって英語で かかわろうとしている。 ・ペアやグループでの活動におい て、英語を使って協力して取り 組んでいる。 ・友達の様子に注目し、英語を使 って声をかけようとしている。	○指導者やいろいろな友 達に、英語を使って積極 的にかかわろうとする。 ・相手と目線を合わせ、同意を求 めたり、確かめたりしながらか わっている。 ・ALTに親しみをもって英語で かかわろうとしている。 ・ペアやグループでの活動におい て、知っている英語表現を活用 しながら協力して取り組んでい る。 ・友達の様子に注目し、よさに気 付きながら英語を使って声をか けようとしている。
観 点 Ⅱ 人 と か か わ る	○英語表現に熱心に耳を 傾け、聞き取ろうとす る。 ○相手に伝わるように話 そうとする。 ・相手の話を、うなずいたり、首 を振ったりしながら聞き取ろう としている。 ・指導者をまねて発話したり、視 聴覚教材等に合わせて歌ったり しようとしている。	○英語表現に熱心に耳を 傾け、聞き取ろうとす る。 ○相手に伝わるように話 そうとする。 ・相手に対し、肯定したり否定し たりしながら聞き取ろうとして いる。 ・指導者の英語での声かけに対し、 応答しようとしている。 ・自分の伝えたいことを積極的に 発表しようとしている。	○英語表現に熱心に耳を 傾け、意味を考えながら 聞き取ろうとする。 ○自分の伝えたいことを、 相手に伝わるように話 そうとする。 ・相手に対し、肯定したり否定し たりしながら聞き取ろうとして いる。 ・指導者の英語での声かけに対し、 英語を使って応答しようとして いる。 ・自分の伝えたいことを、英語を 使って積極的に話そうとしてい る。	○英語表現に熱心に耳を 傾け、意味を考えながら 聞き取ろうとする。 ○自分の伝えたいことを、 相手に伝わるように話 そうとする。 ・相手に対し、肯定したり否定し たりしながら聞き取ろうとして いる。 ・分からないことは、推測しなが ら聞き取ろうとしている。 ・指導者の英語での声かけに対し、 英語を使って応答しようとして いる。 ・自分の伝えたいことを、知って いる英語を使って、身ぶり手ぶ りなど工夫しながら伝えようと している。
	○英語表現に熱心に耳を 傾け、聞き取ろうとす る。 ○相手に伝わるように話 そうとする。 ・相手の話を、うなずいたり、首 を振ったりしながら聞き取ろう としている。 ・指導者をまねて発話したり、視 聴覚教材等に合わせて歌ったり しようとしている。	○英語表現に熱心に耳を 傾け、聞き取ろうとす る。 ○相手に伝わるように話 そうとする。 ・相手に対し、肯定したり否定し たりしながら聞き取ろうとして いる。 ・指導者の英語での声かけに対し、 応答しようとしている。 ・自分の伝えたいことを積極的に 発表しようとしている。	○英語表現に熱心に耳を 傾け、意味を考えながら 聞き取ろうとする。 ○自分の伝えたいことを、 相手に伝わるように話 そうとする。 ・相手に対し、肯定したり否定し たりしながら聞き取ろうとして いる。 ・指導者の英語での声かけに対し、 英語を使って応答しようとして いる。 ・自分の伝えたいことを、英語を 使って積極的に話そうとしてい る。	○英語表現に熱心に耳を 傾け、意味を考えながら 聞き取ろうとする。 ○自分の伝えたいことを、 相手に伝わるように話 そうとする。 ・相手に対し、肯定したり否定し たりしながら聞き取ろうとして いる。 ・分からないことは、推測しなが ら聞き取ろうとしている。 ・指導者の英語での声かけに対し、 英語を使って応答しようとして いる。 ・自分の伝えたいことを、知って いる英語を使って、身ぶり手ぶ りなど工夫しながら伝えようと している。
観 点 Ⅲ 聞 い た り、 話 し た り す る	○英語表現に熱心に耳を 傾け、聞き取ろうとす る。 ○相手に伝わるように話 そうとする。 ・相手の話を、うなずいたり、首 を振ったりしながら聞き取ろう としている。 ・指導者をまねて発話したり、視 聴覚教材等に合わせて歌ったり しようとしている。	○英語表現に熱心に耳を 傾け、聞き取ろうとす る。 ○相手に伝わるように話 そうとする。 ・相手に対し、肯定したり否定し たりしながら聞き取ろうとして いる。 ・指導者の英語での声かけに対し、 応答しようとしている。 ・自分の伝えたいことを積極的に 発表しようとしている。	○英語表現に熱心に耳を 傾け、意味を考えながら 聞き取ろうとする。 ○自分の伝えたいことを、 相手に伝わるように話 そうとする。 ・相手に対し、肯定したり否定し たりしながら聞き取ろうとして いる。 ・指導者の英語での声かけに対し、 英語を使って応答しようとして いる。 ・自分の伝えたいことを、英語を 使って積極的に話そうとしてい る。	○英語表現に熱心に耳を 傾け、意味を考えながら 聞き取ろうとする。 ○自分の伝えたいことを、 相手に伝わるように話 そうとする。 ・相手に対し、肯定したり否定し たりしながら聞き取ろうとして いる。 ・分からないことは、推測しなが ら聞き取ろうとしている。 ・指導者の英語での声かけに対し、 英語を使って応答しようとして いる。 ・自分の伝えたいことを、知って いる英語を使って、身ぶり手ぶ りなど工夫しながら伝えようと している。